



明日の青梅のために！！

青梅市議会議員

島崎 実 活動報告 No9

平成29年7月25日発行

島崎 実後援会事務所

T198-0033

青梅市梅郷6-1511

TEL 0428-76-0358

E-Mail info@minoru-kai.com

◎当選以来後援会報として発行(8回)して来ましたお知らせを、今回より活動報告としてお届けいたします。

◎梅郷6丁目と柚木町1丁目の間に架かる青龍橋脇の市道段差の補修工事が完了しました。

・雨が降ると水たまりができる状況でした。

・きれいに補修されました。



・工事中の写真です。



◎イシシによる被害を防ぐため、捕獲用の檻を各所に設置しました。6月議会では一般質問を行いました。

・被害に逢ったじゃがいも畑。

・駒木町1丁目

・和田町1丁目

・梅郷6丁目に設置しました。



◎橋梁からの飛び込み自殺防止のため、欄干の嵩上げを実施した群馬県みどり市の2橋を視察しました。

・橋から見下ろした風景

・110センチの欄干を55センチ嵩上げしたはねたき橋

・2m柵を設けた高津戸橋

高津戸橋



◎神代橋・奥多摩橋等の欄干の嵩上げを主題とした、関係機関の連絡会を5月11日に開催しました。

・参加者は都西多摩建設事務所長、都西多摩保健所長、青梅駅長、青梅警察署長、奥多摩消防署長、青梅消防署課長を始め、青梅市・奥多摩町の関係各部・部課長と私の計31名の会議となりました。

・議決事項として、今後青梅市と西多摩建設事務所が中核となり、年度内に数回の実務者による協議会を開催し、欄干の嵩上げについて具体的に詰めていくこととなりました。

「6月議会報告」

◎6月議会は6月5日に請願・陳情を締切、12日～14日に一般質問、15・16日に常任委員会審査、19日に補正予算審査と全員協議会を開催し、26日の本会議で終了しました。

◎なお、今議会で私は予算・決算委員会副委員長に指名されました。また、常任委員会は福祉文教委員会に所属します。

(全員協議会に於ける市長提出事項)

◎全員協議会の場に於いて下記7項目が提出されました。

(1) 青梅市公式キャラクターの命名について

・篠原ともえさんデザインの青梅市公式キャラクターの名前が「ゆめうめちゃん」に決定しました。379名の応募の中から、篠原さんの協力も得て市内3名の方が名付けたこの名前が選ばれました。

(2) 市長のフランス出張について

・東京オリンピック・パラリンピックのカヌー・スラローム競技にかかるキャンプ誘致を行うため、市長によるトップセールスを実施します。9月22日～28日の間フランスを訪問し、フランスを始めとする各国カヌー連盟首脳や選手に直接キャンプ誘致を働きかけるとともに、フランスにおけるカヌーの聖地であるポー市の取り組みを研究します。面談者はフランスカヌー連盟会長・ポー市長他となります。

- (3) 「いじめゼロ宣言・子ども議会」の開催について
 ・7月26日、市内の小学校16校・中学10校から計53名の児童・生徒が参加し、議場および議会大会議室に於いて、いじめ根絶に向けた取り組みを話し合う子ども議会を開催します。
- (4) 西多摩広域行政圏協議会によるホストタウン申請について・・・対象は米国とします。
- (5) 市を当事者とした訴訟事件の概要について・・・固定資産評価審査委員会の決定を不服として訴訟。
- (6) 青梅市空家等対策計画(素案)について
- (7) ふるさと納税者に対する青梅マラソンエントリー枠の新設について
 ・ふるさと納税の返礼品に青梅マラソン30キロの部の出場権。寄付金額3万円、定員は100人。

◎一般質問では

- 1、イノシシ等の獣害対策の推進について、および
 2、青梅市におけるがん死亡率及び医療費の現状と健康増進策について、質問しました。
 ①獣害対策については、イノシシ等が住宅地にまで頻繁に出没する現状とそれへの対応策について、
 ②日経新聞のデータを参考に、本市の健康増進施策につき、先進市の取り組みと比較し質しました。

私の質問(一部)

市長答弁

「イノシシ等の獣害対策の推進について」

- | | |
|---|--|
| <p>(1) 28年度の農産物への被害額は？対策について具体的に伺う。檻・罠・銃はどのくらいあり、どこに設置し、捕獲実績はどうか？</p> <p>(2) イノシシ等が住宅地に出没するようになった要因について、市はどう捉えているか？</p> <p>(3) 児童生徒への危害が懸念される。学校での周知・指導はどう行っているか？</p> <p>(4) 当面の対策としては捕獲を進めるしかない。住宅地での捕獲は檻が最も無難であるが、様々な留意事項がある。檻の設置について市の関与を強化して推進すべきではないか？</p> <p>(5) 市民の自衛策として、イノシシの嫌う火薬の散布や天敵オオカミの尿等の散布を支援しては？</p> <p>(6) 29年度の農産物被害防除予算は316万円。内、イノシシ捕獲檻予算は3基分45万円。台数増と電気柵支援について伺う？</p> <p>(7) 市は猟友会と業務委託契約を結び、捕獲を委託している。猟友会の会員増強等組織強化に更なる支援を行うべきでは？</p> | <p>(1) 28年度の被害総額は1,041万2千円。捕獲手段は小動物用の檻が14基、イノシシ用7基、銃は猟友会で54丁。イノシシ118頭、シカ70頭等を捕獲。</p> <p>(2) 山のエサ不足と畑の残菜等の誘引物の存在。林や畑の手入れができないことにより、往来が容易になったことなどで、住宅地の畑に出没すると分析している。</p> <p>(3) 住宅地に出没した場合は関係部署を通じて、学校へ情報提供を行っている。</p> <p>(4) 住宅地への檻の設置に関しては、周辺住民の同意を頂くとともに、子供の侵入・いたずらなどへの対処として、檻に注意喚起の表示をするなど、地域との連携に配慮する。また、猟友会の諸活動を支援連携する。</p> <p>(5) これらの自衛策は一時的なもので、効果が継続しないとの回答を都多摩環境事務所から得ている。</p> <p>(6) イノシシ用檻は3基増の10基体制とし、増設は使用実態を踏まえ、猟友会と協議する。簡易電気柵はJAが補助しているが、市は駆除が有効と考える。</p> <p>(7) 獣害対策は市の大きな課題の一つで、猟友会による対策は一定の成果を得ている。猟友会の高齢化や後継者不足等の課題に付、支援を検討していく。</p> |
|---|--|

「青梅市におけるがん死亡率及び医療費の現状と、健康増進策について」

- | | |
|---|---|
| <p>(1) 日経新聞の特集記事によると、本市の1人当たり医療費は全国平均404千円余に対し、370千円余。がん死亡率は全国平均100に対し、男性92、女性89と良い。感想を問う？</p> <p>(2) がん検診の受診率、受診率を高める施策と再度検査が必要な方へのフォローはどの様に行っているか？</p> <p>(3) がん死亡率に関し、本市では男性の大腸がんのみ全国平均より高くなっている。この理由はどこにあるか？捉えているか？
 (本市に於いても地域医療の先進地域長野県佐久市とほぼ同様の多くの取り組みを行ってはいるが)</p> <p>(4) 佐久市では保健補導員というボランティアが検診を薦める等の役割を担っている。健康増進のためのボランティアをどう考えるか？</p> <p>(5) 健康寿命を延ばし、更なる健康増進を図るため、施策を総合的に推進する必要ありと考えるが見解を伺う。</p> | <p>(1) 新聞社が独自に算出した数字であるが、本市のがん死亡率と1人当たり医療費が全国平均を下回っていることは、これまでの「健康づくり」の取組や、各種保健事業などの一定の成果の表れと感じている。</p> <p>(2) 受診率を高める施策として、ホームページを始め各種の周知を行っている。二次検診の必要な人には個別勧奨を行っている。</p> <p>(3) 男性の大腸がんの死亡率が全国平均より高い理由は、不明であるが、検診受診率の向上に努め、早期発見早期治療が重要であると考えます。</p> <p>(4) ボランティアに関して、本市では介護予防リーダーがある。健康増進のためのボランティアについては長野県などの取組事例を参考にしていく。</p> <p>(5) 家庭・地域等との協働による健康作り。食育を含め総合的に市民の健康増進に努めてまいります。</p> |
|---|---|